

9月29日 ストップ・リニア！訴訟 記念講演会

# 「原発・リニアと活断層

## ～熊本地震が教えるもの」

熊本地震で九州新幹線6両脱線、早期地震検知システムは役立たず。活断層が動いたら、時速500kmで無数の活断層を横切るリニア、再稼働を狙う原発はいったいどうなる？ 地震学の権威、島村教授がお話しします。

と き：2016年9月29日（木）18：15～20：30

ところ：麻生市民館大会議室

（小田急線新百合ヶ丘駅徒歩2分）

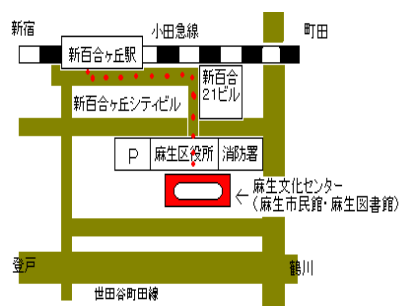
講 師：島村英紀さん（武蔵野学院大学特任教授）

《現場からの報告》

・ストップ・リニア！訴訟原告団

・脱原発かわさき市民 ・原発メーカー訴訟原告団

資料代：500円



今回の地震は、中央構造線と呼ばれる断層帯群上で起きました。これは、長野から鹿児島までを通る、1000キロにも及び巨大断層帯です。今回の地震を起こした布田川断層や日奈久断層も、中央構造線の一部。そして、阿蘇山も中央構造線上に位置します。

ーダイヤモンドオンライン：島村教授に聞く（4月21日）よりー



しまむら・ひでき

1941年、東京都生まれ。武蔵野学院大学特任教授。東京大学理学部卒業、同大学院修了、理学博士。東京大学助手、北海道大学教授、北海道大学地震火山研究観測センター長、国立極地研究所長などを歴任。専門は地球物理学（地震学）。「直下型地震」、「日本人が知りたい巨大地震の疑問50」、「新・地震をさぐる」「火山入門」など著書多数。

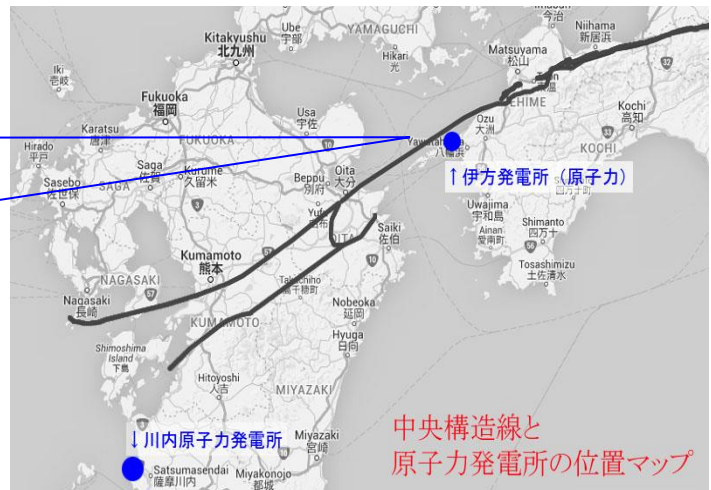
共催：リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会 090-6108-6568(矢沢)  
脱原発かわさき市民 090-2209-9730(瀬川)



リニア新幹線は、東京（品川）から、神奈川、山梨、長野、岐阜を経て名古屋に至る全長286km。8割以上がトンネル。活断層が集中する南アルプスの山中に巨大な穴を開けて通る。



中央構造線のルート上には、伊方（愛媛県）や川内（鹿児島県）など、原子力発電所があり、放射能廃棄物も山積する



熊本地震では、九州新幹線が脱線事故を起こした。幸い乗客はいなかった！

